

草津白根山における地磁気全磁力変化*

Variation of Geomagnetic Total Intensity at Kusatsu-Shirane Volcano

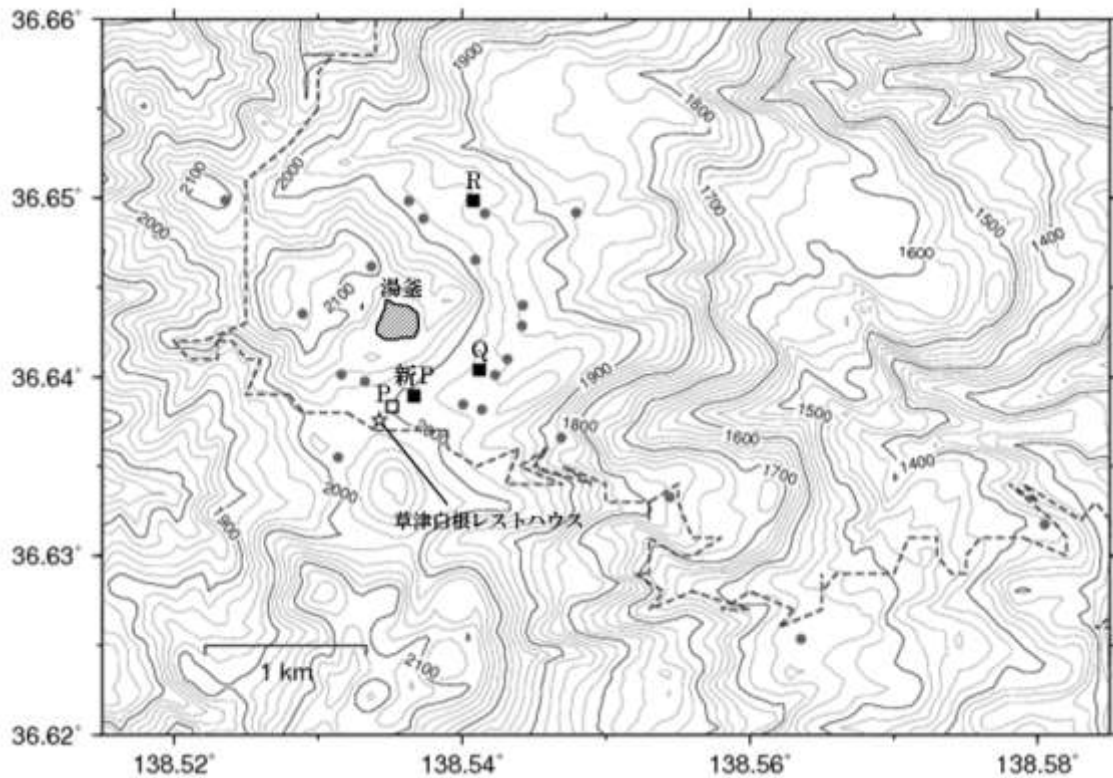
気象庁地磁気観測所

Kakioka Magnetic Observatory, JMA

第1図に草津白根山における全磁力連続観測点P、Q、Rおよび新P点の配置図を示す。

第2図～第3図に、八ヶ岳地球電磁気観測所(東京大学地震研究所、草津白根山から南方約62 km)で観測された全磁力値を基準とした全磁力連続観測点の全磁力変化を示す。

地磁気全磁力観測の結果、2014年5月頃から湯釜近傍地下で小規模な熱消磁によると考えられる変化が観測された。この変化は2014年7月頃からは停滞している。



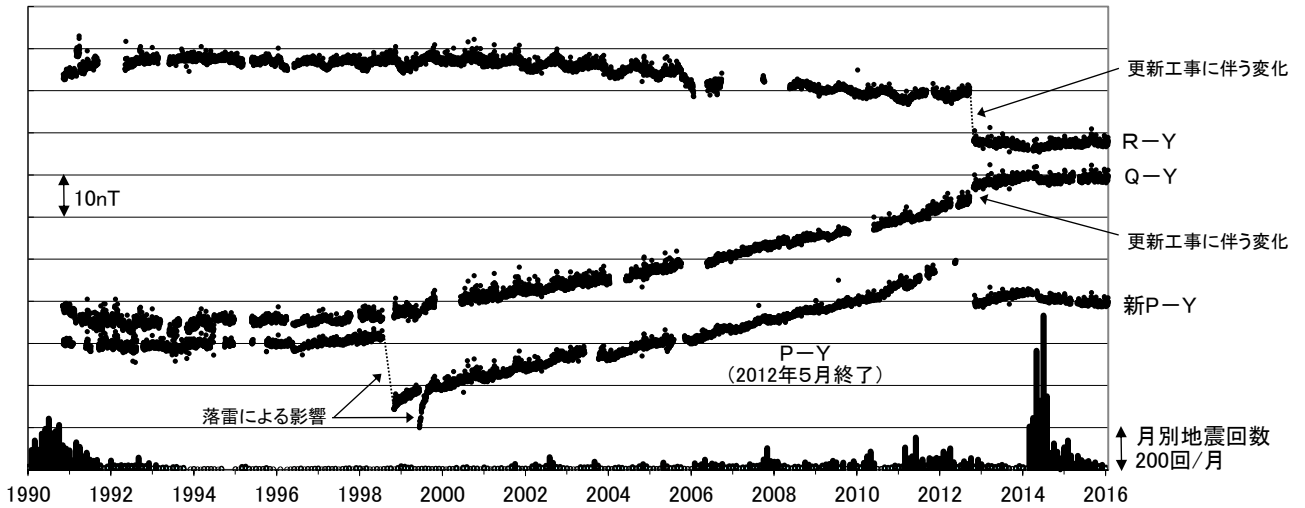
第1図 全磁力連続観測点(P、Q、Rおよび新P)および繰り返し観測点(番号1-23)の配置図。

この地図の作成には、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ(標高)」を使用した。

(承認番号 平23情使、第467号)

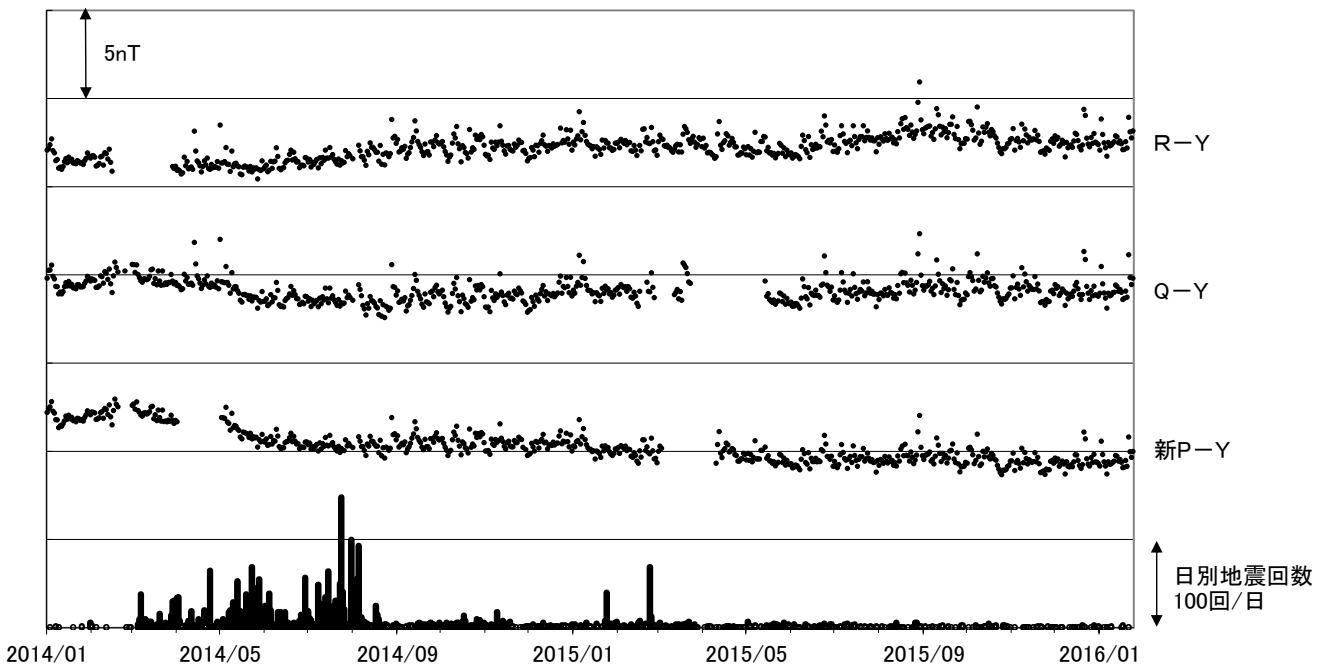
Fig.1 Location map of continuous (P, Q, R and Shin-P) observation stations for geomagnetic total intensity.

* 2016年4月28日受付



第2図 全磁力連続観測による全磁力値の変化及び月別地震回数（1990年1月～2016年1月24日）。連続観測点P、Q、Rおよび新Pにおける八ヶ岳地球電磁気観測所（東京大学地震研究所）（Y）との全磁力の日平均値差。最下段に草津白根山で観測された月別地震回数を示す。

Fig.2 Temporal variation of the geomagnetic total intensity at the continuous observation stations P, Q, R and Shin-P from January 1990 to 24 January 2016, with reference to YAT(Y). The bar chart at the bottom of the panel denotes the monthly number of the volcanic earthquakes at Kusatsu-Shirane volcano observed by JMA.



第3図 全磁力連続観測による全磁力値の変化及び日別地震回数（2013年10月～2016年1月24日）。連続観測点新P、QおよびRにおける八ヶ岳地球電磁気観測所（東京大学地震研究所）（Y）との全磁力の日平均値差。最下段に草津白根山で観測された日別地震回数を示す。

Fig.3 Temporal variation of the geomagnetic total intensity at the continuous observation stations Shin-P, Q and R from October 2013 to 24 January 2016, with reference to YAT(Y). The bar chart at the bottom of the panel denotes the daily number of the volcanic earthquakes at Kusatsu-Shirane volcano observed by JMA.